

「外科的肺生検の病理所見による特発性肺線維症に対するニンテダニブ投与患者の
予後予測：多施設共同後ろ向き観察研究」へのご協力をお願い

研究の意義と目的) 特発性肺線維症はニンテダニブを含めた抗線維化薬が近年推奨され治療法の変革が起きています。同時にニンテダニブを投与しても進行が抑えられない症例が存在することがわかってきました。本研究の目的は効果を予測する因子を研究する、後ろ向き観察研究です。

研究対象) 2015年1月から2017年6月までの間に公立陶生病院と亀田総合病院において外科的肺生検を行い特発性肺線維症の診断となりニンテダニブで加療されている方。

研究期間) 当院倫理委員会承認後から2018年12月31日までを予定しております。

研究方法) 多施設後ろ向き観察研究で、外科的肺生検時の病理データおよび、その前後半年以内の臨床情報、画像情報をカルテより抽出し解析に使用します。

取り扱う診療情報(データ)・情報の保護)

個人が特定できるような情報は全て削除し、匿名化を行い個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護に細心の注意を払います。使用するデータとしては、年齢、性別、カルテに記載されている問診・診察情報、胸部X線や胸部CTスキャン、血液検査、呼吸機能検査、運動耐容能評価、治療内容などを想定しています。

外部への試料・情報の提供) 当院で撮影されたCT画像や外科的肺生検による組織標本を電子的配信にて研究協力機関で評価を行います。

研究機関名: 亀田総合病院, 亀田クリニック,
公立陶生病院, 大阪国際がんセンター, 近畿中央病院, 長崎大学
研究責任者: 亀田総合病院 病理診断科: 福岡順也
各施設研究担当者: 公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科: 近藤康博
近畿中央病院放射線診断科: 上甲剛
大阪国際がんセンター放射線診断・IVR科: 澄川裕充
長崎大学病理診断科: 福岡順也

問い合わせ窓口

本研究についてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。ご自身やご家族の情報が本研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記のご連絡先までお申し出ください。

連絡先: 公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 片岡健介
電話番号:0561-82-5101(病院代表)